

■地域文化研究専攻教員の活動(2016年1月～12月)

*所属教員名の五十音順に、各人の研究活動を下記の項目にしたがって記載した。

*該当業績のない項目は省略している。

*前年記載漏れの業績なども含む。

A. 著書, B. 分担執筆, C. レフェリー付き学術論文, D. 一般学術論文, E. 翻訳, F. その他の業績,
G. 国際学会での活動, H. 国内学会での活動, I. その他の研究活動, J. 受賞

相澤 隆 (AIZASA Takashi)

足立信彦 (ADACHI Nobuhiko)

D. 一般学術論文

- 足立信彦. 共有のユートピア——性・所有・共同体 III——. 『Odysseus』. 20. pp. 33–57. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 2016.

I. その他の活字にならない研究活動

- インターユニ・ゼミナール(ドイツ語・ドイツ文化ゼミナール). 講演, Wo sind die Kannibalen??. 2016.8.4. 山梨県山中湖畔レイクサイドイン富士波.

網野徹哉 (AMINO Tetsuya)

有田 伸 (ARITA Shin)

A. 著書

- 有田 伸. 『就業機会と報酬格差の社会学——非正規雇用・社会階層の日韓比較』. p. 265. 東京大学出版会. 2016.

B. 分担執筆

- 有田 伸. 本書成立の経緯と韓国社会の一位相. 有田伸・山本かほり・西原和久(編). 『国際移動と移民政策——日韓の事例と多文化主義再考』. p. 94. pp. 3–11. 東信堂. 2016.
- Yoshimichi Sato and Shin Arita. Inequality in educational returns in Japan, Fabrizio Bernardi and Gabriele Ballarino (eds.) Education, Occupation and Social Origin: A Comparative Analysis of the Transmission of Socio-Economic Inequalities. p. 304. pp. 94–113. Elgar. 2016.

G. 国際学会

- 東アジア日本研究者協議会第1回大会. 東アジア日本研究者協議会. 松島コンベンシア(韓国仁川). 2016.11.30–12.2. 一般発表. 日本社会における「非正規雇用」とはなにか?——韓国との比較の視点から. 日本語.
- 第13回アジア太平洋社会学会年次大会. アジア太平洋社会学会. 王立ブノンペン大学. 2016.9.24–25. 一般発表. Reward Inequality between Standard and Non-standard Employment in the

Japanese Labor Market: A Sociological Explanation. 英語.

- The 28th Annual Conference of the Society for the Advancement of Socio-Economics. The Society for the Advancement of Socio-Economics. UC Berkeley. 2016.6.24–26. 一般発表, Reward Inequality between Standard and Non-standard Employment in the Japanese Labor Market: A Sociological Explanation. 英語.
- 第 11 回韓国教育雇用パネル学術大会, 韓国職業能力開発院, ソウル大学校湖巖教授会館(ソウル), 2016.2.25. 招待講演, 패널 조사를 통해 본 일본사회의 불평등: 한국과의 비교를 중심으로 (パネル調査を通じてみた日本社会の不平等: 韓国との比較を中心に), 韓国語.

H. 国内学会

- 日本社会学会第 89 回大会, 日本社会学会, 九州大学伊都キャンパス(福岡), 2016.10.8–9. 一般発表, 正規/非正規雇用間の就労上の負担の相違と賃金格差.

アルヴィ宮本なほ子 (ALVEY MIYAMOTO Nahoko)

D. 一般学術論文

- アルヴィ宮本なほ子, 天上の光の啓示とシビラの預言——イギリス・ロマン主義の「夜想」から 2100 年の終末へ——, 『ODYSSEUS』, 20, pp. 59–85, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 2016.

F. その他

- アルヴィ宮本なほ子, エッセイ, 各言語の専門家が選ぶ一冊, 『対訳コウルリッジ詩集(イギリス詩人選 7)』『東京大学新聞』東京大学新聞社, p. 3, 2016.2.2.

H. 国内学会

- 関西コウルリッジ研究会第 171 回例会, 関西コウルリッジ研究会, 同志社大学寒梅館, 2016.9.24. 招待講演, ナイルの海戦とイギリス・ロマン派詩人.

I. その他の活字にならない研究活動

- 高校生のための金曜特別講座, 東京大学教養学部, 東京大学駒場キャンパス 18 号館ホール, 2016.11.11, 特別講座, この日何の日? 11 月 11 日と赤いポピー.

池上俊一 (IKEGAMI Shunichi)

B. 分担執筆

- 池上俊一, 中世都市トゥールーズの執政制, 神崎忠昭(編), 『断絶と新生——中近世ヨーロッパとイスラームの信仰・思想・統治』, p. 268, pp. 161–183, 慶應義塾大学言語文化研究所, 2016.

D. 一般学術論文

- 池上俊一, 思想の言葉——音と声から立ち現れる新たな歴史像, 『思想』, 1111, pp. 2–5, 岩波書店, 2016.
- 池上俊一, ヨーロッパ中世における鐘の音の聖性と法行為, 『思想』, 1111, pp. 6–26, 岩波書店,

2016.

G. 国際学会

- 第9回日韓西洋中世史研究集会. Archives and Records of the Medieval Europe. Yonsei University (ソウル). 2016.5.2–5.3. 英語. 司会.

井坂理穂 (ISAKA Riho)

B. 分担執筆

- 井坂理穂. ボンベイ——エリート層から見た「世界」——. 羽田正 (編) 『地域史と世界史』. p. 315. pp. 222–246. ミネルヴァ書房. 2016年.

F. その他業績

- 井坂理穂, 小磯千尋. 食からみるインド史 中世から現代まで 第1回 「インドの食文化」をいかに語るか. *Vesta*. **102**. pp. 54–60. 味の素食の文化センター. 2016.
- 井坂理穂, 加納和雄. 食からみるインド史 中世から現代まで 第2回 中世インドの宮廷料理 『パーカダルパナ』と『アーイーニ・アクバリール』より. *Vesta*. **103**. pp. 58–63. 味の素食の文化センター. 2016.
- 井坂理穂, 山根聡. 食からみるインド史 中世から現代まで 第3回 イギリス植民地支配と食をめぐる変化. *Vesta*. **104**. pp. 60–65. 味の素食の文化センター. 2016.
- 井坂理穂, 岩谷彩子, 國弘暁子, 佐藤裕. 学会近況 テーマ別セッション IV Re-examining ‘Development’ in Urban Life: The Case of Gujarat (都市の日常からみた「発展」——グジャラート州の事例より——). 『南アジア研究』. **27**. pp. 162–169. 日本南アジア学会. 2015.
- 秋田茂, 井坂理穂, 石坂晋哉, 大石高志, 井上貴子. 座談会 ガーンディー帰国後100年記念特集 ガーンディー再考. 『南アジア研究』. **27**. pp. 7–45. 日本南アジア学会. 2015.
- 井坂理穂. アキール文庫データベース 文献解題6点. 2016.
(http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/kias/aqeel_db/index.html).

G. 国際学会

- Isaka, R. Cookbooks and Culinary Practices: Food, Body and Identity in India from Medieval to Contemporary Times. Nehru Memorial Museum and Library (New Delhi). 2016.12.20. 一般発表. Describing ‘our’ cuisine: Parsi writings on food in colonial and postcolonial India. 英語.
- Isaka, R. The 24th European Conference on South Asian Studies. University of Warsaw (Warsaw). 2016.7.29. 一般発表. Being a Bene Israel Jewish woman in Ahmedabad: Esther David and her ‘home’. 英語.
- Isaka, R. AAS-in-ASIA 2016. 同志社大学今出川キャンパス (京都). 2016.6.26. 一般発表. The Indian book publishing industry in transition: strategies of regional language publishers in the age of globalization. 英語.

石井 剛 (ISHII Tsuyoshi)

A. 著書

- 石井 剛. 齊物の哲学：章太炎与中国現代思想の東亞經驗. p. 230. 華東師範大学出版社. 2016.

B. 分担執筆

- 石井 剛. 拒絶“同”化与“文”の共通体. 当中国深入世界——東亞視覚下的“中国崛起”. 鈴木将久(編). p. 237. pp. 72-92. 亜際書院有限公司. 2016.

C. レフェリー付き学術論文

- 石井 剛. 從“受苦”出發的主体实践：武田泰淳文学中的中国歴史与“喫人”問題以及反思東亞現代性的契機. 『開放時代』. 6. pp. 26-39. 2016.

D. 一般学術論文

- 石井 剛. 仏声, 国粹, 人民：日本二戰後学界關於章太炎辛亥革命前思想的定位問題的争辯. 『亜洲現代思想』. 01. pp. 273-292. 2016.

F. その他の業績

- 石井 剛. 書評. 方法的歴史主義 「ポスト政党政治」の可能性を探る, 汪暉『世界史の中の東アジア 台湾・朝鮮・日本』(丸川哲史編訳)(青土社, 2015年). 『週刊読書人』2月19日. 第4面. 2016.

G. 国際学会

- 首届東亞人文論壇“面向未來的東亞儒学”学術研討会. 中山大学哲学系, 延世大学国学院, 東京大学共生のための国際哲学研究センター. 中山大学(広州). 2016.11.25. 一般発表. 孔子“文不在茲乎?”の感喟以及“文”之共同体的想象：探索“文”与“史”の新詮釈. 中国語.
- 文学復古与“科学”革命：戴震西学对章太炎国故思想的影响. 中山大学哲学系. 中山大学(広州). 2016.11.24. 招待講演. 中国語.
- “思考東亞”研討会. 華東師範大学思勉人文高等研究院. 上海安亭別墅花園酒店(上海). 2016.10.29-30. 一般発表. 批評的史学, 史学的批評：日本現代史学理論的自我反思. 中国語.
- International Conference of Japanese Philosophy “Opening up Japanese Philosophy: The Kyoto School and After”. International Association for Japanese Philosophy. 九州大学(福岡). 2016.10.7-9. 一般発表. Imagining the Marginal: the Possibility of Japanophone Philosophy from a View on the Jeju April Third Incident and Its Literary Representation. 英語.
- UTokyo-NCTU Summer Camp 2016 “Imagining the Possibilities of the University and Civil Society from East Asia”. 多文化共生・統合人間学プログラム. 東京大学(東京). 2016.9.8-11. 一般発表. Imagining the Community of “Wen”—Humanities from East Asian Discourse. 英語.
- 東亞現實中的“天下体系”會議. 亜際書院. 金沢工芸社(上海). 2016.7.2-3. 一般発表. 另外一個“天下”理論：平岡武夫的“天下世界觀”以及其反思. 中国語.
- Workshop “Trans-literary Experiments: Cultural Transformation and Social Change in Modern East Asian Societies”. Harvard-Yenching Institute. Harvard University (Cambridge). 2016.4.29. 一般発表. Ap-

peasement in the Writing of Kim Sok-pom: Fiction and Traumatic Memories of the Jeju April Third Incident. 英語.

- Philosophizing the Concept of “Wen (文)”: Beginning from Takeda Taijun’s Shiba Sen. Harvard-Yenching Institute. Harvard University (Cambridge). 2016.4.5. 招待講演. 英語.
- American Comparative Literature Association Annual Meeting. American Comparative Literature Association. Harvard University (Cambridge). 2016.3.18–20. 一般発表. “The World View of ‘All under Heaven’” in Hiraoka Takeo and Japanese Sinology in the Era of the Chinese Revolution. 英語.
- Workshop “Religion and State in Japanese Philosophy”. 東京大学共生のための国際哲学研究センター. 東京大学 (東京). 2016.2.20. 一般発表. Uchimura Kanzo and the Converting Subjectivity. 英語.
- The 2nd UTCP-NCCU Philosophy Workshop “起信論与主体性: 現代東亜哲学的形成与争論”. 東京大学共生のための哲学研究センター, 国立政治大学哲学系. 東京大学 (東京). 2016.1.9. 一般発表. “随順”的主体实践: 《大乘起信論》与章太炎的“齐物哲学”. 中国語.

H. 国内学会

- 『戴震と中国近代哲学』を共働実学する. 京都フォーラム. 樹福書院会議室 (大阪). 2016.12.17. 招待講演.

石井洋二郎 (ISHII Yojiro)

B. 分担執筆

- 石井洋二郎・藤垣裕子 (共著). 『大人になるためのリベラルアーツ 思考演習 12 題』, 295p. 東京大学出版会, 2016.
- 石井洋二郎. はじめに——言の葉の舞う散歩道. 鉛筆の書き込み——図書館という書物の森. 『東京大学「教養学部報」 精選集』, 東京大学教養学部教養学部報編集委員会編, pp. 1–2. pp. 205–206. 東京大学出版会, 2016.

D. 一般学術論文

- 石井洋二郎. 思想の言葉——芸術のような学問. 『思想』. pp. 2–6. 岩波書店, 2016年9月号.

F. その他の業績

- 石井洋二郎. 教科書. 『フランス文法要説 第3版』. 82p. 朝日出版社, 2016.
- 石井洋二郎. 評論. 大人になるためのリベラルアーツ (上). 『日本経済新聞』, 2016年4月25日.
- 石井洋二郎. 対談. 「理系」から見た「文系」, 「文系」から見た「理系」(梶田隆章との対談). 『淡青』 33. pp. 4–7. 2016年9月.
- 石井洋二郎. インタビュー書評. いまこそ読みたい「この2冊」. 『サライ』. 2016年9月.
- 石井洋二郎. 森山至貴によるインタビュー. 他なるもの」と出会い, 自分を開く. 『ヴェン』. 32. pp. 3–7. 教育芸術社, 2016年10月.

- 石井洋二郎, 藤垣裕子との対談, 思考を鍛える教養『大人になるためのリベラルアーツ』を刊行して, 『UP』 529, pp. 1-13, 東京大学出版会, 2016年11月.
- 石井洋二郎, エッセイ, 駒場をあとに さよならコンサート, 『教養学部報』 588, 東京大学教養学部, 2016年12月.

H. 国内学会

- 『東京大学基金寄付者の集い』, 東京大学安田講堂, 2016年6月24日, 講演, 人文社会科学は何の役に立つか
- 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻シンポジウム: リベラルアーツとしての地域文化研究, 東京大学駒場キャンパス, 2016.6.25, 講演, 今, 人文・社会科学に何ができるか.
- 全国公立高等学校進路指導研究会, ホテル東京ガーデンパレス, 2016年11月12日, 講演, 東京大学の教育が目指すもの.
- 佐藤陽国際奨学財団講演, 一橋講堂, 2016年12月17日, 講演, 外国留学とリベラルアーツ——私自身の体験を通して——.

石田勇治 (ISHIDA Yuji)

B. 分担執筆

- 石田勇治, 『現代ドイツへの視座——歴史学的アプローチ』の刊行にあたって, 石田勇治・福永美和子 (共編著), 『想起の文化とグローバル市民社会』(現代ドイツへの視座 歴史学的アプローチ 第1巻), pp. i-iv, p. 434, 勉誠出版, 2016.
- 石田勇治・福永美和子 (共著), 序文, 石田勇治・福永美和子 (共編著), 『想起の文化とグローバル市民社会』, pp. v-Xi, p. 434, 勉誠出版, 2016.
- 石田勇治・福永美和子 (共編著), 『想起の文化とグローバル市民社会』(現代ドイツへの視座 歴史学的アプローチ 第1巻), p. 434, 勉誠出版, 2016.
- 石田勇治, 悪しき過去との取り組み——戦後ドイツの「過去の克服」と日本, 天児慧・李鍾元 (編), 『東アジア 和解への道——歴史問題から地域安全保障へ』, 岩波書店, pp. 21-24, p. 214, 2016.
- 石田勇治, ヒトラー独裁の成立——ヒトラーは選挙(民意)で首相になったのか?, 森井裕一 (編), 『ドイツの歴史を知るための50章』, 明石書店, pp. 215-220, p. 376, 2016.
- 石田勇治, ナチ時代のドイツ——民族共同体・対外政策・第二次世界大戦, 森井裕一 (編), 『ドイツの歴史を知るための50章』, 明石書店, pp. 221-227, p. 376, 2016.

D. 一般学術論文

- 石田勇治, 「緊急事態条項」創設は議会制民主主義, 国民の権利を破壊する——ヒトラー独裁の成立過程が浮き彫りにするもの——, 『月刊保団連』, 2016-8, 1222, pp. 29-34, 全国保険医団体連合会, 2016.
- 石田勇治, ナチ時代のドイツ, 現代のドイツ, 『治安維持法と現代』, 2016 秋季, 32, pp. 29-41.

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟, 2016.

E. 翻訳

- 石田勇治, 監修, イアン・カーショール(福永美和子訳), 『ヒトラー(下) 1936-1945 天罰』白水社, p.1144, 2016.
- 石田勇治, 翻訳, ウルリケ・ユーライト, 公的資源としての歴史——想起・世代・集团的アイデンティティ, 石田勇治・福永美和子(共編著), 『想起の文化とグローバル市民社会』, pp.23-33, 434p, 勉誠出版, 2016.

F. その他の業績

- 石田勇治, 項目執筆, 「反ユダヤ主義」「ホロコースト」「ファシズム」, 広島市立大学広島平和研究所(編), 平和と安全保障を考える事典, 法律文化社, 2016.
- 石田勇治, 映画「アイヒマン・ショー／歴史を映した男たち」公開スペシャルインタビュー, 朝日新聞, 2016.4.15, 夕刊.
- 石田勇治, 国民投票を考える, 朝日新聞, 2016.10.10.
- 石田勇治, 非常時と権力——ナチス, 緊急令で独裁正当化, 朝日新聞, 2016.10.5.
- 石田勇治, ナチスの時代を見つめて, 東京新聞, 2016.8.16.

H. 国内学会

- 憲法記念講演会, 全国憲法研究会, 青山学院大学, 2016.5.3, 講演, ヒトラーと現代ドイツ.

I. その他の活字にならない研究活動

- 日本記者クラブ, ヒトラーとは何者だったのか, 日本プレスセンタービル, 2016.12.9, 講演.
- FM J-WAVE. JAM THE WORLD, 民主主義体制とワイマール憲法のもとで, なぜドイツはヒトラーの独裁を許してしまったのか, そこから日本はどんな教訓を学ぶべきなのか?, 2016.12.2, 出演.
- みなと・九条の会, 歴史に学ぶ緊急事態条項の恐ろしさ, 高輪区民センターホール, 2016.11.26, 講演.
- 「良心・表現の自由を！」声をあげる市民の会, ナチ時代のドイツ, 現代のドイツ, 東京市民活動・ボランティアセンター(飯田橋), 2016.11.26, 講演.
- 中日文化センター, ヒトラーとは何者だったのか, 中日ビル(名古屋), 2016.10.1/10.29/11.19, 講演.
- 東京弁護士会・東京第一弁護士会・東京第二弁護士会, 日弁連人権擁護大会プレシンポ, 歴史に学ぶ立憲主義・民主主義の危機～ワイマール憲法の教訓～, 弁護士会館(霞ヶ関), 2016.9.16, 講演.
- 戦争はいやだ! 市川市民の会, 講演会, ヒトラー政権誕生と市民(民衆), 市川教育会館, 2016.8.27, 講演.
- 撫順未来実行委員会, 日本国憲法公布70周年記念講演会, ナチ・ドイツと民主主義——なぜ文明国にヒトラー独裁政権が誕生したのか, 日比谷図書文化会館, 2016.8.22, 講演.

- 在日韓人歴史資料館。土曜セミナー。ヒトラーとナチ時代のドイツを考える。2016.8.6。講演。
- IWJ Independent Web Journal 岩上安身氏との対談。安倍政権が「学ぶ」「ナチスの手口」とは。2016.7.1。出演。
- 村山首相談話を継承し発展させる会。特別講演会。なぜ文明国ドイツにヒトラー独裁政権が誕生したのか。参議院議員会館。2016.6.17。講演。
- 朝日カルチャースクール。ヒトラーとは何者だったのか。横浜ルミネ。2016.5.21。講演。
- 報道ステーション(テレビ朝日)。特集 独ワイマール憲法の“教訓”。2016.3.18。放送。監修(年間ギャラクシー賞テレビ部門大賞受賞)。
- 2016 年春季アカデミー。日独共同大学院プログラム (IGK)。ハレ大学。2016.3.9-13。コーディネート(協力)。
- 2016 年秋季アカデミー。日独共同大学院プログラム (IGK)。東京大学・駒場。2016.9.13-17。コーディネート。

石橋 純 (ISHIBASHI Jun)

F. その他の業績

- 石橋 純(ライブコンサート評)。YOSHIRO 広石 LATIN CONCERT 2016 LATIN と JAZZ と BRAZILIAN のカクテルで自由と多様性を。『ラティーナ』753 (2016 年 12 月号)。pp. 68-69。
- 石橋 純(音楽評論)。来日迫るグアコ：公演プログラムの聴きどころ。『ラティーナ』752 (2016 年 11 月号)。pp. 33-35。
- 石橋 純(音楽評論)。グアコ来日直前インタビュー最古参グスタボ・アグアドに訊く。『ラティーナ』751 (2016 年 10 月号)。pp. 38-41。
- 石橋 純(CD 選曲, 解説, 歌詞聞き取り, 歌詞対訳, 曲目解説)。GUACO The Best. MUSAS 7006。2016 年 10 月。
- 石橋 純(音楽評論)。ベネズエラのスーパーバンド《グアコ》初来日：老舗アヴァンギャルドの全容。『ラティーナ』750 (2016 年 09 月号)。pp. 49-52。
- 石橋 純(音楽評論)。伝統音楽の魂をうたうベネズエラの「大歌手」セシリア・トッド。『ラティーナ』748 (2016 年 07 月号)。pp. 29-32。
- 石橋 純(CD 選曲, 解説, 歌詞聞き取り, 歌詞対訳, 曲目解説)。セシリア・トッド『愛する歌国ベネズエラ』。SKTY0005。スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド。2016 年 7 月。
- 石橋 純(音楽評論)。追悼 エルナン・ガンボア。『ラティーナ』744 (2016 年 03 月号)。pp. 74-75。
- 石橋 純(書評)。鈴木裕之, 川瀬慈編著『アフリカン・ポップス!: 文化人類学からみる魅惑の音楽世界』。『ポピュラー音楽研究』, 19 (2015 年号)。pp. 31-33。

I. その他の研究活動

- 世界の音楽文化 ベネズエラ音楽を知る。認定 NPO 法人 かわさき市民アカデミー。2016.7.21。

神奈川県川崎市新百合トウエンティワンホール。講演。

- スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド 2016. ワークショップコーディネート, 司会, 通訳, ベネズエラ音楽紹介, 講師・セシリア・トッド, 2016.8.27, 福野文化創造センター アートスペース.
- 全学体験ゼミナール・ラテンアメリカ音楽演奏入門 成果発表コンサート, コンサート企画, 運営, 司会, 講演, 2016.8.6, 東京大学駒場キャンパス 18 号館ホール.
- ベネズエラへうたの魅惑 セシリア・トッドと仲間たち トーク & ミニライブ Venezuela en canto, 講演会企画, 東京大学教養学部教養学科ラテンアメリカコース, 2016.8.29, 東京大学駒場キャンパス 18 号館ホール.

遠藤泰生 (ENDO Yasuo)

小川浩之 (OGAWA Hiroyuki)

F. その他業績

- 小川浩之, 書評, 池田亮, 『植民地独立の起源——フランスのチュニジア・モロッコ政策』, 法政大学出版局, 2013, 『国際政治』, **185**, pp. 156–159, 2016.

G. 国際学会

- EUSI (EU Studies Institute in Tokyo) Workshop, EUSI, Keio University, 2016.3.2, Oliver Bange, “Picking up the Pieces: The Crisis of 1963 and the Rescue of European Integration”. 英語, コメンテーター.

H. 国内学会

- 国際関係史学会 (CHIR) 研究会例会, 国際関係史学会 (CHIR), 東京外国語大学本郷サテライト, 2016.11.12, 一般発表, 冷戦・アパルトヘイト・コモンウェルス——イギリス対外政策と南アメリカへの武器輸出問題, 1955~1975 年.

I. その他の活字にならない研究活動

- イギリス現代史と EU 離脱問題, NHK 文化センター青山教室, 2016.10.17, 2016.10.24, 2016.10.31.

木宮正史 (KIMIYA Tadashi)

B. 分担執筆

- 木宮正史, 日韓関係: 非対称的な相互補完から対称的な競合へ, 大矢根聡, 大西裕 (編), 『FTA・TPP の政治学 貿易自由化と安全保障・社会保障』, p277, pp. 251–271, 有斐閣, 2016.
- 木宮正史, パワーシフトに直面する東アジアと日本の位相, 杉田敦 (編), 『グローバル化のなかの政治 岩波講座 現代 第4巻』, p. 268, pp. 191–213, 岩波書店, 2016.

D. 一般学術論文

- 기미야다다시, 韓半島の平和と統一と日本の役割: 韓日関係の新たな可能性を求めて (韓国語), 『未来社会と行政学 再設計 II 変化と持続のための行政学 10–6–7 Peace and Reunification of

Korea』, pp. 41–49. 韓国行政学会, 2016.

- 木宮正史. 1970年代第三世界をめぐる南北外交競争と韓国外交. 『現代韓国朝鮮研究』, 16, pp. 1–13. 現代韓国朝鮮学会, 2016.
- 기미야다다시. 韓日修交 51年の高地から見た韓日関係: 韓日関係 50年の再検討と韓日安保協力の可能性 (韓国語). 『国立外交院日本研究センター政策用役課題 新たな韓日関係ビジョン研究 最終報告書』, pp. 85–98. ソウル大学日本学研究センター, 2016.
- 木宮正史. 北朝鮮の動向. 『學士會會報』, 921, pp. 28–31. 日本學士会, 2016.
- 木宮正史. 一九七〇年代朝鮮半島冷戦に関する試論的考察: グローバル冷戦のデタント化と韓国外交. 『思想』, 2016.7, pp. 77–92. 岩波書店, 2016.
- 木宮正史. 日韓新時代の条件. 『2016 東アジア国際シンポジウム 日韓新時代とアジアの未来——歴史問題を乗り越えて日韓友好親善関係構築は可能か』, pp. 24–28. 東アジア総合研究所, 2016.
- 기미야다다시. 1970年代韓半島冷戦に関する試論的考察: グローバル冷戦のデタント化と韓国外交 (韓国語). 『第7回外交史ブラウンバックセミナー発表論文』, pp. 1–16. 韓国国立外交院外交史研究センター, 2016.

F. その他の業績

- 木宮正史. 安倍首相パールハーバー訪問に関する電話インタビュー. 『聯合ニュース』 配信, 2016.12.28.
- 木宮正史. 新聞記事. 朴槿恵大統領4月末辞意受け入れに関する電話インタビュー. 『共同通信』 配信, 2016.12.6.
- 木宮正史. 項目執筆. 朝鮮戦争, 朝鮮半島の分断, 日韓国交正常化交渉, 日朝平壤宣言, 米朝協議. 広島市立大学広島平和研究所 (編). 『平和と安全保障を考える事典』, p. 701. pp. 426–427, 473, 477, 564–565. 法律文化社, 2016.
- 木宮正史. 項目執筆. 中韓関係 (2016年), セウォル号事件, 韓国 MERS 感染, 駐韓アメリカ大使襲撃事件, 歴史教科書国定問題 (韓国), 朴槿恵政権の対北朝鮮政策, 日朝交渉 (2016年), 日韓関係 (2016年), 北朝鮮核実験 (2016年). 『デジタルイミダス 2016, <http://imidas.jp>』. 集英社クリエイティブ, 2016.
- 木宮正史. 新聞記事. 韓国政府民主統一平和諮問会議の内容に関する発表の紹介. 『聯合ニュース』 配信, 2016.12.16.
- 木宮正史. 新聞記事. 「ストレス社会」不満爆発 (韓国の政治社会状況に関するインタビュー). 『讀賣新聞』, 2016.12.2.
- 木宮正史. 新聞記事. 朴槿恵大統領辞意表明に関する電話インタビュー. 『共同通信』 配信, 2016.11.29.
- 木宮正史. 新聞記事. トランプ政権下における東アジア安保状況の展望に関するインタビュー (韓国語). 『韓国日報』 2016.11.15.

- 木宮正史. 新聞記事. 日韓関係と慰安婦問題. 『聯合早報 (シンガポール)』. 2016.9.24.
- 木宮正史. 新聞記事. 北朝鮮第5次核実験に関する電話インタビュー談話 (韓国語). 『韓国日報』 2016.9.12.
- 木宮正史. 新聞記事. 北朝鮮第5次核実験実施に関する電話インタビュー談話. 『ロイター』『韓国 SBS テレビ』『リベラシオン』 2016.9.9.
- 木宮正史. 新聞記事. 慰安婦政府間合意と関連した日韓外相電話会談での合意に関する電話インタビュー談話 (韓国語). 『聯合ニュース』. 2016.8.14.
- 木宮正史. 新聞記事. 日本の参議院選挙結果が日韓関係に及ぼす影響に関する電話インタビュー談話 (韓国語). 『韓国日報』 2016.7.11., 『聯合ニュース』. 2016.7.10.
- 木宮正史. 新聞記事. 米公文書館の朝鮮人捕虜尋問調書に関する識者インタビュー. 『毎日新聞』. 2016.6.10.
- 木宮正史. 新聞記事. 韓国総選挙結果が日韓関係に及ぼす影響に関する電話インタビュー (韓国語). 『聯合ニュース』. 2016.4.14.
- 木宮正史. 新聞記事. 『帝国の慰安婦』をめぐる研究集会での発言内容 (韓国語). 『聯合ニュース』. 2016.3.28.
- 木宮正史. エッセイ. 한일관계와 위안부 문제 (韓日関係と慰安婦問題). 韓国社会科学院社会科学院フォーラム <http://www.iss88.kr/>. 2016.

G. 国際学会

- 韓日平和統一フォーラム: 北朝鮮核問題の解決策と韓半島の平和統一. 韓国政府民主平和統一諮問会議. ホテルニューオータニ東京. 2016.12.15. 招待講演. 北朝鮮の核ミサイル開発と朝鮮半島情勢.
- 未来社会と行政学 再設計Ⅱ 変化と持続のための行政学 10-6-7 Peace and Reunification of Korea. 韓国行政学会. 韓国ソウル高麗大学. 2016.12.10. 招待講演. 韓半島の平和と統一と日本の役割: 韓日関係の新たな可能性を求めて. 韓国語.
- 日韓関係の新たなビジョンを求めて最終報告会議. ソウル大学日本学研究所. 東京大学駒場 I キャンパス. 2016.11.12. 招待講演. 韓日修交 51 年の高地から見た韓日関係: 韓日関係 50 年の再検討と韓日安保協力の可能性. 韓国語. 日本側企画責任者.
- 第 2 回東アジアと日韓関係の未来. 東京大学韓国学研究部門, 韓国国際政策研究院. 東京大学駒場 I キャンパス. 2016.10.27. 主催者, 司会, 討論者, 日本側企画責任者.
- The 22nd International Seminar on Sea Names, Names of Islands and Seas: Connecting People, Culture, History and the Future. The Society of East Sea, Northeast Asian History Foundation. South Korea, Hyatt Regency Jeju. 2016 10.22-26. 招待. 討論者. 韓国語.
- Korea-China-Japan International Conference Cooperation and Conflict in East Sea Rim. Institute of Global Affairs at Kyung Hee University, Institute of Japanese Studies at Kookimin University, Northeast Asian Studies College at Jilin University. Kyung Hee University, Global Campus at Suwon. 2016.10.21. 招待.

討論者、韓国語。

- 第20次 日韓有識者間政策対話、世宗研究所日本研究 Center、グランドプリンスホテル広島、2016.9.12、招待、司会、日本側責任者。
- 政府間合意以後の慰安婦問題、東京大学韓国学研究部門、東京大学駒場 I キャンパス、2016.7.31、主催者、企画責任者。
- 日韓関係の新たなビジョンを求めて、ソウル大学日本学研究所、東京大学駒場 I キャンパス、2016.7.30、招待、韓国語、日本側企画責任者。
- 冷戦期東北アジア外交史研究の現況と課題：韓国現代外交史研究東京ワークショップ、東北アジア歴史財団、東アジア研究院・東京大学韓国学研究部門、東京大学駒場 I キャンパス、2016.7.17、主催者、韓国語、日本側責任者。
- 第51回 SGRA フォーラム 今、再び平和について：平和のための東アジア知識人連帯を考える、関口グローバル研究会 (SGRA)、渥美国際交流財団、東京国際フォーラム、2016.7.15、招待講演、基調報告、東アジアにおけるパワーシフトと知識人の役割。
- 金俊燁先生逝去5周年国際学術会議 韓国と中国 そして東アジア：相互認識と理解、南京大学韓国学研究センター、韓国社会科学院、中国南京大学、2016.6.17、招待、討論者、韓国語。
- 東アジア総合研究所設立25周年記念第15回東アジア国際シンポジウム『日韓新時代と東アジアの未来——歴史問題を乗り越えて日韓友好親善関係構築は可能か？——』、東アジア総合研究所、韓国国際交流財団、韓国漢白統一財団、学士会館、2016.6.10、招待講演、日韓新時代の条件。
- 第19次 日韓有識者間政策対話、世宗研究所日本研究 Center、韓国釜山朝鮮ビーチホテル、2016.3.10、招待、日本側責任者。
- 第7回外交史ブラウンバッグセミナー、韓国国立外交院外交史研究センター、国立外交院、2016.2.24、招待講演、1970年代朝鮮半島冷戦史に関する試論的考察：グローバル冷戦のデタント化と韓国外交、韓国語。

H. 国内学会

- 合評会——和田春樹著『アジア女性基金と慰安婦問題——回想と検証』、東京大学韓国学研究部門、東京大学駒場 I キャンパス、2016.12.6、主催者、総合司会、企画責任者。
- ジャーナリストによる朝鮮半島勉強会、ジャーナリストによる朝鮮半島勉強会、国会記者会館、2016.11.18、招待講演、危機に瀕する朴槿恵政権：韓国現代史の現住所。
- シンポジウム 今、人文、社会科学に何ができるか、東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻、東京大学駒場 I キャンパス、2016.6.25、一般発表、地域研究と政策対話：日韓間の懸案を事例として。
- 安全保障研究会月例研究会、内閣府官房安全保障研究会、都市センターホテル、2016.6.15、2016年上半期の朝鮮半島情勢：朝鮮労働党第7回大会を終えた金正恩体制、総選挙での敗北に直面した朴槿恵政権。

- 日本学術会議地域研究基盤整備委員会分科会, 日本学術会議地域研究基盤整備委員会, 日本学術会議, 2016.4.15. 一般発表, 歴史問題と地域研究.

I. その他の活字にならない研究活動

- 放送出演. 韓国政治の動向に関する解説インタビュー. 日本テレビスッキリ, 2016.11.30, 12.1, 6, 7, 8.
- 放送出演. 韓国政治の動向に関する解説出演. よみうりテレビミヤネ屋, 2016.11.18, 22, 28, 12.7.
- 放送出演. 韓国政治の動向に関するインタビュー. フジテレビユアタイム, 2016.11.2, 29.
- 放送出演. 韓国政治の動向に関する討論出演. BS フジテレビプライムニュース, 2016.11.2, 29.
- 放送出演. 韓国政治の動向に関するインタビュー. フジテレビめざましテレビ, 2016.11.1, 7.
- 放送出演. 韓国政治の動向に関する解説. フジテレビ直撃 Live グッデイ, 2016.11.3, 4.
- 放送出演. 韓国政治の動向に関するインタビュー. テレビ東京アンサー, 2016.10.31.
- 放送出演. 韓国政治の動向に関する解説出演. テレビ朝日 Abema TV (インターネットテレビ), 2016.10.27.
- 放送出演. 韓国における加湿器殺菌剤による死亡事件に関するコメント. フジテレビユアタイム, 2016.5.4.
- 放送出演. 「外相 & 自民党重鎮が北京へ 検証 日中韓 本音と建前」に関するゲスト. BS フジテレビプライムニュース, 2016.4.29.
- 講演会. 「“日米韓” “日米” “日韓” 首脳会談 北朝鮮, 南シナ海, 慰安婦問題, 各国首脳の本気度」に関するゲスト BS フジテレビプライムニュース, 2016.4.1.
- 朝日カルチャーセンター新宿教室. 『朝鮮半島から見る日本と世界: 第1期 韓国現代史の展開, 第2期 韓国と北朝鮮, 第3期 新時代の日韓・日朝関係』, 2016.4.-12. 全15回.

金 志英 (KIM Ji-young)

B. 分担執筆

- 김지영 (金志英). 새로운 한일관계 비전연구 (新しい韓日関係のビジョン研究). 『일본의 보통 국가화와 한일 안보 협력 (日本の普通国家化と韓日安保協力)』, pp. 65-78. 서울대일본연구소 (ソウル大学日本研究所), p. 155. 2016.
- 김지영 (金志英). 한반도 주변 4강국 중기 대한반도 정책 전망 및 전략적 대응방안 (朝鮮半島周辺四強国中期對朝鮮半島政策展望及び戰略的對対応方案). 『일본의 중기 대한반도 정책 전망 (日本の中期對朝鮮半島政策展望)』, pp. 62-92. 한국 통일부 (韓國統一部), p. 125. 2016.

C. レフリー付き学術論文

- Ayumi Yamada & Ji Young Kim. Option-Splitting Effects in Poll Regarding Japan's Right to Exercise Collective Self-Defense. Social Science Japan Journal. Vol. 19, No. 1. pp59-69. Oxford University Press. 2016.

G. 国際学会

- The Association of Asian Studies (AAS) in Asia Conference. Doshisha University, Kyoto, Japan. 2016. 6.24–6.27. Paper presentation. “Illusion of Splitting in East Asia Security Relations: South Korea, China, and Japan under the US Rebalancing Strategy.” 英語

斎藤文子 (SAITO Ayako)

B. 分担執筆

- Ayako Saitou. La primera traducción japonesa del Quijote y la autocensura del amor. Hans Christian Hagedorn (coord.). Don Quijote en los cinco continentes. Acerca de la recepción internacional de la novela cervantina. pp483–500. Cuenca. Ediciones de la Universidad de Castilla-La Mancha. p. 612. 2016.

F. その他の業績

- 斎藤文子. エッセイ. 各言語の専門家が選ぶ一冊 『2666』. 『東京大学新聞』. 2749. p. 3. 2016.2.2.
- 斎藤文子. エッセイ. セルバンテスの機知. 『東京大学「教養学部報」精選集: 「自分の才能が知りたい」ほか教養に関する論考』. 東京大学教養学部教養学部報編集委員会編. pp184–186. 東京大学出版会. 2016. (『教養学部報』 382. 1994.2.9. 掲載のエッセイの採録).

G. 国際学会

- Seventh Symposium on European Languages in East Asia: Reflections of Exile, Migration, and Diaspora in European Languages and Literatures. 国立台湾大学文学院外国語文学研究所. 国立台湾大学 (台北). 2016.9.30–10.1. 一般発表 (招待). Paradoxical Role of Black Servants in Miguel de Cervantes's “The Jealous Old Man from Extremadura”. 英語.

H. 国内学会

- 日本比較文学会関西支部研究例会 「スペイン演劇・詩・俳句」. 日本比較文学会関西支部. 神戸市外国語大学. 2016.7.16. 読書会発題. 俳句の影響をどう論ずるか——田澤佳子著『俳句とスペインの詩人たち: マチャード, ヒメネス, ロルカとカタルーニャの詩人』について.

I. その他の活字にならない研究活動

- 斎藤文子. トークイベント. 『第三帝国』から『アメリカ大陸のナチ文学まで』——訳者三名がボラーニョの初期三作を読む. MARUZEN & ジュンク堂書店渋谷店. 2016.9.4.
- 斎藤文子. 司会. Luisa Valenzuela. La Argentina hoy y la narrativa de los años de plomo. in The 2016 UTokyo LAINAC International Conference. The Power of Memory: Perspectives from Latin America. 2016. 6.12. スペイン語.

佐藤安信 (SATO Yasunobu)

G. 国際学会

- Global Forum on Law, Justice and Development. WashingtonD.C. 2016.12.8. 分科会の企画運営及び報

告. Network Governance for Access to Justice in Asia: New Paradigm for Solution of Refugee Crises, Working Smart in Second Generation Rule of Law Assistance: Lessons Learned & Promising Tools for Sustainable Reform.

- 34th Symposium on Economic Crime. ケンブリッジ大学. 2016.9.8. ワークショップ報告. Human Rights and Business in Myanmar
- 34th Symposium on Economic Crime. ケンブリッジ大学. 2016.9.7. 分科会報告. Human Trafficking, Smuggling, exploitation and slavery
- Harvard Project on Asia and International Relations. 香港中文大学. 2016年8月20日. 人道に関する分科会のパネリストとして報告.
- ビジネスと人権に関するセミナー講師. JICA プノンペン事務所. 2016年8月11日.
- ビジネスと人権に関するセミナー講師. ジェトロバンコク事務所. 2016年8月8日
- アジア国際法学会. ハノイ. 2016年6月14日. 報告. Network Governance for Human Security: A New Paradigm for Business and Human Right.
- ビジネスと人権に関するセミナー講師. ジェトロハノイ事務所. 2016年6月13日.

H. 国内学会

- アジア法学会秋季大会. 2016年11月20日. シンポジウム「民主化後ミャンマーの法と社会」の企画, 趣旨説明. 報告. ティラワ経済特区にみる民主化と法の支配の可能性.
- 科研基盤 A ネットワークガバナンス研究会. 東京大学. 2016年5月28日. 主催.
- James Hathaway 教授のセミナー. 東大国際法研究会. 東京大学. 2016年5月28日. コメンテーター.
- セミナー報告. 京都弁護士会. 2016年4月1日.
- ワークショップ報告. 法務省国際協力部 (大阪). 2016年1月14日.

I. その他の活字にならない研究活動

- ワークショップ「人間の安全保障」プログラム (HSP) ・グローバル地域研究機構持続的平和研究センター長としての研究活動
- 難民出身地国情報のデータベース構築
- アジアの難民国際保護ネットワーク (ANRIP) の大会. 会議運営 (1月にマニラ, 6月にソウル, 11月に香港)
- 難民政策プラットフォームの設立とセミナー開催

代田智明 (SIROTA Tomoharu)

D. 一般学術論文

- 代田智明「王小波『黄金時代』私論——変容するセクシャリティ」. 『颯風』54. pp. 1-31. 2016.1.
- 代田智明「魯迅進化論の淵源を探る——ハックスリー・巖復・ニーチェ」. 『颯風』55. pp. 1-33.

2016. 3.

F. その他の業績

- 代田智明. エッセイ. 雑誌からいささか大げさな話題. 『中国研究月報』. pp. 46–47. 2016.2.
- 代田智明. 書評. 加々美光行『未完の中国——課題としての民主化』. 『中国研究月報』. pp. 21–24. 2016.5.
- 代田智明. エッセイ. 4年ぶりの北京. 雑誌『中国研究月報』. pp. 46–49. 2016.10.
- 代田智明. エッセイ. 外国語の文学に触れる. 『東京大学新聞』. 2016.10.4.

G. 国際学会

- “鲁迅——在传统与世界之间”会议, 2016.9.2. 人民大学音乐厅, 报告「关于“超越性”的东西——自现代小说到鲁迅」中国語.

菅 豊 (SUGA Yutaka)

B. 分担執筆

- 菅豊. 『日本』民俗学以前の事——一九世紀イギリスにおける folklore の誕生と日本——. 桑山敬己(編). 『日本はどのように語られたか——海外の文化人類学的・民俗学的日本研究——』. p. 437. pp. 267–345. 昭和堂. 2016.
- 菅豊. 歴史のなかの環境とコモンズ——日本のサケの資源利用. 水島司(編). 『環境に挑む歴史学』. p. 404. pp. 83–93. 勉誠出版. 2016.

C. レフリー付き学術論文

- 菅豊. 公益與共益——從日本的“社会性”伝統再構成看国家與民衆. 『民俗研究』2016–6. pp. 49–54. 山東大学. 2016.

D. 一般学術論文

- 菅豊. 闘牛を育てる, 「伝統」を育てる. 『FIELDPLUS』. 15. pp. 18–19. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. 2016.
- 菅豊. 国境を越える錦鯉文化——グローバル化時代における日本文化の脱国籍化と現地化——. 『家畜資源研究会報』. 15. pp. 20–27. 家畜資源研究会. 2016.

G. 国際学会

- International Symposium Meeting, “Perspectives and Positions of Cultural and Folklore Studies in Japan and Germany”. Deutsche Gesellschaft für Volkskunde, Folklore Society of Japan. Ludwig-Maximilians-Universität München. Munich. 2016.10.28–29. 招待講演. Quiet Violence: Urban Rivers, Hidden Walls, and Vulnerable Populations in Japanese Society. 英語.
- 山東論壇 2016. 山東大学. 韓国高等教育財団. 山東大学(済南市). 2016.10.21–23. 招待講演. 圍繞東亜国家的合作與競争——作為跨国文化的錦鯉鑑賞文化的協同創造活動——.
- 上海大学社会学院系列講座 2016年第13講総第419講“歴史與民族誌講壇”の第一講. 上海大学. 上海大学(上海市). 2016.4.29. 招待講演. 公共資源論的兩難困境——河川灘地, 居民管理, 排

他性.

- 中国伝統村落保護（鳴鶴）国際高峰論壇（International Summit Forum on Chinese Traditional Village Protection）. 中国民間文芸家協会, 中国伝統村落保護與發展研究中心他. 杭州湾環球酒店（慈溪市）. 2016.4.26. 招待講演. 伝統村落保護の可能性與課題——生活文化主義的提起——.

H. 国内学会

- 2016 年度現代民俗学会年次大会. 現代民俗学会. 東京大学（東京）. 2016.5.21. 一般発表. 宮本常一が予期しなかったこと——文化政策, 民俗学者の介入, そして順応的管理——.

杉田英明 (SUGITA Hideaki)

D. 一般学術論文

- 杉田英明. 楽器が奏でる樹の記憶. 『學士會会報』. **920**. pp. 48–53. 学会. 2016.
- 杉田英明. 明治日本の『ルバイヤート』. 『ODYSSEUS』. **20**. pp. 1–37. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 2015.

F. その他の業績

- 杉田英明. [解説]「世界史という思想」と「つきあいの文化」の発見. pp. 317–30. 三木亘『悪としての世界史』文春学藝ライブラリー. 文藝春秋. 2016.
- 杉田英明. [鉄笛 (エッセイ)]「うきことの」. pp. 57–58. 『大法輪』. **83.9**. pp. 57–58. 大法輪閣. 2016.
- 杉田英明. [掲示板]石澤久五郎の筆名「氷湖」とは. p. 88. 『週刊新潮』. **61.9**. 新潮社. 2016.

杉山清彦 (SUGIYAMA Kiyohiko)

B. 分担執筆

- 杉山清彦. 中央ユーラシア世界——方法から地域へ——. 羽田正（編）. 『地域史と世界史』（MINERVA 世界史叢書①）. p. vi, 315, 11. pp. 97–125. ミネルヴァ書房. 2016.

F. その他の業績

- 杉山清彦. 新聞記事. 「カルピス」と「満洲」と. 『教養学部報』588. p. 3. 東京大学教養学部. 2016.
- 杉山清彦. 研究報告. 大清帝国の形成と八旗制. 『公益財団法人三島海雲記念財団研究報告書』**53** (平成 28 年度). p. 252. pp. 9–12. 公益財団法人三島海雲記念財団. 2016.
- 杉山清彦. 概説. 世界史研究最前線～これからの世界史を考える～「東アジア世界」と日本. 『世界史のしおり』**69**. p. 16. pp. 6–8. 帝国書院. 2016.
- 杉山清彦. 月報. 「師事」なお遠くとも——私淑から親炙. 『月報 8』(岡田英弘著作集 8 世界的ユーラシア研究の六十年). p. 8. pp. 4–6. 藤原書店. 2016.
- 杉山清彦. 解説. 日本語版監修者序文. マイケル・E・ハスキュー他著『戦闘技術の歴史 5 東洋編』. p. 363. pp. i–vi. 創元社. 2016.

G. 国際学会

- Global History Workshop: “Globalization from East Asian Perspectives”. Osaka University and University of Oxford Center for Global History. 大阪大学中之島センター, 2016.3.15. 招待講演. The Qing Empire as a Central Eurasian State: From the Manchu Khanate to the Early-modern Eurasian Empire. 英語.

H. 国内学会

- 朝鮮史研究会第53回大会. 朝鮮史研究会, 専修大学, 2016.10.16. 統一テーマ「再考・近世朝鮮の対清関係」コメント.
- 第60回ロシア史研究会年次大会. ロシア史研究会, 東北大学, 2016.10.9. 一般発表. 清露接触下の東北ユーラシアと八旗制——軍事体制の展開と人の移動——.
- シンポジウム「空間的統合のダイナミズム——「中国」近世再考」. 宋代史研究会・明清史夏合宿の会合同合宿, 神奈川県箱根町, 2016.8.10. 招待講演. マンジュ=大清グルンの歴史的的位置——「近世国家」と「中央ユーラシア国家」と.
- 第53回日本アルタイ学会. 日本アルタイ学会, 長野県信濃町, 2016.7.17. 一般発表. 高校世界史教育の動向と中央ユーラシア史研究.
- 第45回三重大学歴史研究会大会・シンポジウム「東アジアの近世国家——大清帝国と江戸幕府——」. 三重大学, 2016.1.30. 招待講演. 近世東アジアの二つの武人政権——大清帝国と江戸幕府——.

I. その他の活字にならない研究活動

- 平成28年度長野市民教養講座「アジア諸国の歴史と現況」. 長野市民講座運営委員会, 長野市, 2016.10.14. 講演. 歴史から読み解く中国の民族問題.
- 岡田英弘著作集完結記念シンポジウム「今, なぜ岡田史学か?」. 藤原書店, 東京都千代田区, 2016.6.18. パネリスト.
- 神戸大学附属中等教育学校・高大連携歴史教育研究会「研究会 歴史総合を考える」. 神戸大学附属中等教育学校, 2016.6.17. 講演. 「歴史総合」と世界史像——分水嶺は「近世」か「近代」か——.
- 駒澤大学平成28年度春季公開講座「講座Ⅱ 死者はどこへいくのか——他界観と死生観にみる思想と文化——」. 駒澤大学, 2016.5.21. 講演. 伝統中国の他界観と現世観.
- 兵庫県立加古川東高等学校国際理解教育講演会. 兵庫県立加古川東高等学校, 2016.3.19. 講演. 歴史学からみる現代アジア——世界史の教育と研究の経験から——.
- 杉山清彦, 監修. マイケル・E・ハスキュー他著『戦闘技術の歴史5 東洋編』, p. 363. 創元社, 2016.

J. 受賞

- 第5回三島海雲学術賞(公益財団法人三島海雲記念財団). 著書『大清帝国の形成と八旗制』(名古屋大学出版会, 2015). 2016.

鈴木啓二 (SUZUKI Keiji)

高橋英海 (TAKAHASHI Hidemi)

F. その他の業績

- Nicolini-Zani, M., in collaboration with H. Takahashi. 執筆協力. The Dunhuang Jingjiao Documents in Japan: A Report on Their Reappearance. Li Tang & Dietmar W. Winkler (eds.). Winds of Jingjiao: Studies on Syriac Christianity in China and Central Asia. p. 441. pp. 15–26. Wien: LIT Verlag. 2016.

G. 国際学会

- 8th International Symposium of College of Liberal Studies, Seoul National University: “Global Cooperation for Undergraduate Education”. Sejong Hall, Seoul. 2016.10.7. コメンテーター.
- 10th Annual of Conference of the Asia-Pacific Early Christian Studies Society. State University of Aerospace Instrumentation, St. Petersburg. 2016.9.9–10. 一般発表. From Lydda to Xiapu: The Chinese Manichaean Prayer of Saint George (Jisizhou 吉思呪). 英語.
- 1st Meeting of the Joint Research Project ‘Studies on Religious and Politico-Social Minority Groups in Middle Eastern Societies’. Japan Center for Middle Eastern Studies, Beirut. 2016.9.1–2. 招待講演. The Cultural Role of Syriac Christians and Their Survival Strategies. 英語.
- XIIum Symposium Syriacum. Pontificium Institutum Orientalium Studiorum. Collegio Internazionale San Lorenzo da Brindisi, Roma. 2016.8.19–21. 一般発表. The Syriac Marginal Notes in the Arabic Euclid Manuscript Chester Beatty Arabic 3035 and Some Related Matters. 英語.
- 5th Salzburg International Conference: Syriac Christianity in China and Central Asia. Universität Salzburg. 2016.6.19–22. 一般発表. Notes on Prince George of the Önggüt and His Family in the Light of the Newly-Discovered Inscriptions at Ulaan Tolgoi and Some Chinese Sources. 英語.
- “Allographic Traditions” among Arabic-Speaking Christians, Jews and Samaritans: Workshop on the Writing Systems of Garshuni, Judeo-Arabic and Samaritan Arabic. Institute of Advanced Study, Princeton. 2016.6.9–10. 招待講演. Why and When to Write in Garshuni: Observations Based on Some Mainstream and Peripheral Cases. 英語.
- International Workshop: Vulnerability and Resilience: Ecology of Non-Dominant Groups in the Middle East. 科学研究費基盤 B 「中東・北アフリカ地域のイスラーム圏の少数派と弱者に関する総合的研究」(研究代表者: 高橋英海). Japan Center for Middle Eastern Studies, Beirut. 2016.3.10. 一般発表. Survival and Revival among Syriac Christians: Two Items from Barhebraeus and from Fujian, China. 英語.
- Workshop: Women Perspectives, Conditions and Changes in Japan, Oman and Sweden. Lund University. 2016.2.23–24. 司会.

H. 国内学会

- セミナー「中東・北アフリカの少数派再考」. 科学研究費基盤 B 「中東・北アフリカ地域のイス

ラーム圏の少数派と弱者に関する総合的研究」(研究代表者: 高橋英海), 福山市立大学, 2016.7.8. 中東地域の少数派の移住とコミュニティーの再建: キリスト教徒の事例から,

- 科学研究費補助金(基盤研究A)「ユダヤ・イスラーム宗教共同体の起源と特性に関する文明史的研究」(研究代表者: 市川裕) 報告会, 東京大学, 2016.5.15. シリア教会の共同体論: 遠隔地における共同体,
- 東京大学中東地域研究センター(UTCME)公開シンポジウム「移動・移民と中東」, 東京大学中東地域研究センター, 東京大学, 2016.1.30. 中東地域のキリスト教徒にとっての移住: 聖書, 歴史, 文学, そして現状から,

高橋 均 (TAKAHASHI Hitoshi)

B. 分担執筆

- 高橋均, ラテンアメリカ〜二〇世紀を通じての自己診断の変遷と後進性の過剰演出〜, 羽田正, 『地域史と世界史』, p. 315. pp. 126-149. ミネルヴァ書房 [MINERVA 世界史叢書①], 2016,

竹村文彦 (TAKEMURA Fumihiko)

D. 一般学術論文

- 竹村文彦, A・マチャードの二つの《アルバルゴンサレスの土地》——短篇小説と長篇詩における作中人物の比較——, 『ODYSSEUS』, 20, pp. 111-126, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 2016,

F. その他の業績

- 竹村文彦, コラム, ドン・キホーテ——現実の複雑さや流動性, 『東京大学新聞』, 2775, p. 3, 2016.10.4,
- 東京大学教養学部スペイン語部会(竹村文彦ほか全10名)(編), 教科書, 『スペイン語初級』, p. 87, 朝日出版社, 2016,
- 竹村文彦, エッセイ, 何と妙な名字か!, 岩波書店辞書編集部(編), 『世界の名前』, p. 243, pp. 76-78, 岩波書店, 2016,

田中 創 (TANAKA Hajime)

C. レフリー付き学術論文

- 田中創, 「背教者」ユリアヌス——皇帝書簡と伝承, 『歴史学研究』, 951, pp. 12-27, 2016,

G. 国際学会

- The Asia Minor Workshop: Understanding the Process of Hellenization in Asia Minor, 科研費補助金基盤研究C「リキアの都市アイデンティティの形成と展開」(師尾晶子 [千葉商科大学, 課題番号25370868]), 京都大学吉田キャンパス, 2016.3.21. 一般発表, St. Nicholas and Religious Landscape of Lycia: Worship of Angels in the Age of Justinian. 英語,

H. 国内学会

- 古代ギリシア文化研究所 2016 年度総会・研究会, 古代ギリシア文化研究所, 東京大学向ヶ岡ファカルティハウス, 2016.11.5. 一般発表, 伝承される書簡と人物イメージ——ユリアヌスとリバニオスの書簡集を例に。

I. その他の活字にならない研究活動

- 朝日カルチャーセンター「古代都市の時空をめぐる」, 新宿住友ビル, 2016.9.14. 招待講演, 首都ローマとコンスタンティヌス帝——皇帝のいなくなる日。

谷垣真理子 (TANIGAKI Mariko)

G. 国際学会

- 「東亜世界知識生産と研究方法」学術工作坊, 香港城市大学中文および歴史学系, 2016.6.3–6.4. 招待講演, 我的香港研究: 過去, 現在, 未来, 中国語。

I. その他の活字にならない研究活動

- フィールド調査, 香港 1967 年暴動参加者聞き取り調査, 中国香港特別行政区, 2016.12.27–12.30.
- フィールド調査, 香港石澳村太平清醮見学, 中国香港特別行政区, 2016.11.11–11.13.
- フィールド調査, 香港保釣運動聞き取り調査, 中国香港特別行政区, 2016.10.7–10.9.
- 市民講座, アジアを知ろう 香港シリーズ第 6 回, 香港の未来を考える——雨傘革命, そして 2047 年を目指して, 吉祥寺アジアを知る会 (九浦の家), 2016.9.25.
- フィールド調査, 香港立法会選挙見学, 中国香港特別行政区, 2016.9.3–9.5
- フィールド調査, 東南アジアの華人集住区調査, カンボジアプノンペン, ベトナムハノイ, 2016.8.7–8.9.
- 国際会議, ワンアジアコンベンション 2016 プノンペン, カンボジアプノンペン市, 2015.8.4–8.6.
- フィールド調査, 厦門僑郷調査, 中国福建省厦門市, 2016.7.23–7.27.
- フィールド調査, 翁松燃氏聞き取り調査, 台湾南投県埔里鎮, 2016.3.12–3.15.
- フィールド調査, 台湾総統・立法院選挙見学, 台湾台北市, 2016.1.16–1.18.
- フィールド調査, 京都しほり産業の中国展開について聞き取り調査, 京都市, 2015.12.27–12.28.

田原史起 (TAHARA Fumiki)

D. 一般学術論文

- Fumiki TAHARA. A Village Perspective on Competitive Authoritarianism in Russia. 『ODYSSEUS』, 20, pp. 87–110, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 2016.

G. 国際学会

- 新と旧・公と私・理与时・情与勢: 再论建国初期历史实践的社会、思想、文化、生活意涵, 当代中国史读书会, 亚际书院北京办公室, 金梧桐宾馆, 中国北京市, 2016.4.24. ラウンドテーブル

発言. 《“工作队”与建国初期的历史实践》. 中国語.

H. 国内学会

- ユーラシア地域大国を考える（「シリーズ・ユーラシア地域大国論」完結記念）. 井上貴子, 宇山智彦, 佐藤隆弘, 田原史起, 山根聡, 望月哲男. 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター大会議室. 2016.5.14. パネルディスカッション.

土屋和代 (TSUCHIYA Kazuyo)

B. 分担執筆

- 土屋和代. 誰の〈身体〉か? — アメリカの福祉権運動と性と生殖をめぐる政治. 小松原由理編. 『〈68年〉の性—変容する社会と「わたし」の身体』. p. 256. pp. 62–90. 青弓社. 2016.

D. 一般学術論文

- 土屋和代. 「福祉権の聖歌」— 全米福祉権団体の結成と人種, 階級, ジェンダー. 『立教アメリカン・スタディーズ』. **38**. pp. 81–103. 立教大学アメリカ研究所. 2016.

F. その他の業績

- 土屋和代. 新刊紹介. 大森一輝著 『アフリカ系アメリカ人という困難—解放奴隷後の黒人知識人と「人種」—』. 『史學雑誌』. **125.6**. pp. 121–122. 史学会. 2016.

H. 国内学会

- 第一回研究集会. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 東京大学駒場キャンパス. 2016.9.27. 一般発表. 〈^{ジャンク}廃品〉からの創造—S・ロディアのワッツ・タワーとブラック・ロスアンジェルス.

筒井賢治 (TSUTSUI Kenji)

F. その他の業績

- 「古代キリスト教とギリシャ語」. 朝日カルチャーセンター新宿. 2016.11.19. 一般向け講義 (有料). 日本語.

鶴見太郎 (TSURUMI Taro)

B. 分担執筆

- 鶴見太郎. 「ソ連・ロシアの対パレスチナ政策—放置されるロシアの飛び地」. 白杵陽・鈴木啓之編. 『パレスチナを知るための60章』. p. 412. pp. 222–226. 明石書店. 2016.
- 鶴見太郎. 「ユダヤ人問題—ロシアとユダヤの複雑な関係」. 下斗米伸夫編. 『ロシアの歴史を知るための50章』. p. 400. pp. 100–106. 明石書店. 2016.

F. その他の業績

- 鶴見太郎. 「シオニズムとは何か—イスラエルの孤立化と軍事信仰の起源」. SYNODOS. 2016.7.26

G. 国際学会

- 11th Lavy Colloquium “Israel’s East European Lineages: Russian and Polish Jewish History, Zionism, and Israeli Political Cultures,” The Johns Hopkins University. Baltimore. 2016.5.4–5.5. ラウンドテーブル登壇. 英語. 組織委員.

H. 国内学会

- ロシア史研究会大会共通論題「ロシア史における宗教間関係」. ロシア史研究会. 東北大学. 2016.10.9. 組織者・司会者.

外村 大 (TONOMURA Masaru)

B. 分担執筆

- 外村大. 식민지기의 재일조선인 문화운동— 민족적 저항의 요소에 착목하여— (植民地期の在日朝鮮人の文化運動— 民族的抵抗の要素に着目して—). 청암대학교 재일코리안연구소 (靑巖大学在日コリアン研究所) (編). 『재일코리안운동과 저항적 정체성 (在日コリアン運動と抵抗的アイデンティティ)』. p. 431. pp. 125–140. 선인 (ソニン). 2016.
- 外村大. やさしい人びとの平和な国? 日本と日本人について考える. 武内進, 西崎文子 (編). 『紛争・対立・暴力—世界の地域から考える』. p. 177. pp. 155–174. 岩波書店. 2016.

C. レフェリー付き学術論文

- 外村大. 1940年代の在日朝鮮人と日本人—帝国秩序下の多文化状況の展開と帰結—. 『移民研究年報』. 22. pp. 43–61. 日本移民学会. 2016.

F. その他の業績

- 外村大. 解説 江戸の町の営みを支えた人びとに思いをよせて. 浦本誉至史 『弾左衛門と江戸の被差別民』. p. 295. pp. 291–295. 筑摩書房. 2016.
- 外村大. 書評. 『「国がない」ディアスポラの歴史』 (李里花 かんよう出版). 週刊読書人. 3140. 読書人. 2016.

G. 国際学会

- NTU-UTokyo Joint Conference. 国立台湾大学. 台湾大学 (中華民国台北市). 2016.11.30. 招待講演. 戦後日本における植民地支配の歴史認識. 日本語.
- 韓国国立外交院日本研究センター国際会議: 韓日関係の中の在日韓国人. 韓国国立外交院日本研究センター. 韓国国立外交院 (韓国ソウル市). 2016.10.12. コメント. 朝鮮語.
- 漢陽大学比較歴史文化研究所主催国際シンポジウム: 東アジア地域の“労働”移住. 漢陽大学比較歴史文化研究所. 韓国ソウル特別市・漢陽大学人文学部. 一般発表. 日本帝国の外地人・外国人労働動員とその影響. 2016.6.3. 朝鮮語.

H. 国内学会

- 第20回日韓有識者政策対話. 一般発表. 外務省. 広島県広島市グランドプリンスホテル広島. 「慰安婦問題」をめぐる議論と展望. 2016.9.12. 日本語.

中尾まさみ (NAKAO Masami)

F. その他の業績

- 中尾まさみ, 3つの言語でひらく新たな地平——東京大学トライリンガル・プログラム公開シンポジウム, 『東京大学教養学部報』, 第584号, 2016.6.1.

H. 国内学会

- 東京大学トライリンガル・プログラム公開シンポジウム「3つの言語でひらく新たな地平」, 東京大学教養学部附属グローバルコミュニケーション研究センター主催, 東京大学, 2016.3.12, 企画・運営・パネルディスカッション, 「そしてこれから——多言語教育と国際人材養成の未来」司会.

長沢栄治 (NAGASAWA Eiji)

A. 著書

- 長沢栄治, 『現代中東を読み解く——アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』, (後藤晃との共編著), p. 266, 明石書店, 2016.
長沢栄治, 『中東と日本の針路——「安保法制」がもたらすもの』, (栗田禎子との共編著), p. 259, 大月書店, 2016.

B. 分担執筆

- 長沢栄治, ナクバ〈以後〉を生きる 難民とパレスチナ問題, 川喜田敦子・西芳実(編), 『歴史としてのレジリエンス』(災害対応の地域研究第4巻), p. 368, pp. 177-219, 京都大学学術出版会, 2016.
- 長沢栄治, 大国エジプトの変節——宗教, 帝国主義, 民族主義, そして新しい時代へ, 白杵陽・鈴木啓之(編), 『パレスチナを知るための60章』, p. 394, pp. 232-236, 明石書店, 2016.
- 長沢栄治, はじめに——中東と日本, 後藤晃・長沢栄治(編), 『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』, p. 266, pp. 3-10, 明石書店, 2016.
- 長沢栄治, 中東近代史のもう一つの見方——アラブ革命の5年間を振り返って, 後藤晃・長沢栄治(編), 『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』, p. 266, pp. 18-50, 明石書店, 2016.
- 長沢栄治, エジプト——革命の5年間, 後藤晃・長沢栄治(編), 『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』, p. 266, pp. 100-120, 明石書店, 2016.
- 長沢栄治, あるヌビアの友人との別れ, 後藤晃・長沢栄治(編), 『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』, p. 266, pp. 121-123, 明石書店, 2016.
- 長沢栄治, 中東の悲劇に対して市民ができること, 栗田禎子・長沢栄治(編), 『中東と日本の針路——「安保法制」がもたらすもの』, p. 259, pp. 182-193, 大月書店, 2016.

C. レフェリー付き学術論文

- Eiji Nagasawa, Henri Curriel: A Jewish Egyptian Dedicated to Peace and Socialism. *Mediterranean Review*.

9. 1. pp. 77–96. Institute of Mediterranean Studies. 2016.

D. 一般学術論文

- 長沢栄治. アラブ革命を振り返る——背景・展開・遺産. 『日本の科学者』, 51.11, 日本科学者会議, 2016.

F. その他の業績

- 長沢栄治. 「テロとの戦い」の時代にひるまない——日本と中東. 『長周新聞』, 2016.1.1.
- 長沢栄治. IS 問題を考える——「文明」対「野蛮」の図式を超えて. 『市民の意見』, 154, pp. 10–13, 2016.2.1.
- 長沢栄治. 書評: 北澤義之著『アラブ連盟』, 『イスラーム世界研究』, 9, pp. 344–346, 京都大学イスラーム地域研究センター, 2016.
- 長沢栄治. 怪物生む「対テロ戦争」やめよ. 『山梨日日新聞』「時標」欄, 2016.11.27.

西川杉子 (NISHIKAWA Sugiko)

G. 国際学会

- Converting Europe: Protestant Missions, Propaganda and Literature from the British Isles (1600–1900). Girton College, University of Cambridge. Cambridge. 2016.9.30–10.1. 招待講演. Uniting a Protestant Europe: the SPCK and its Networks. 英語.

H. 国内学会

- 国際商業史研究会例会. 国際商業史研究会. 東京大学駒場キャンパス, 2016.10.29. 一般発表. 「近世における在外イングランド国教徒の礼拝」, 日本語, 運営委員.
- 第6回 ヨーロッパ中世・ルネッサンス・宗教改革勉強会. 東京 YMCA 会館, 2016.11.26. 招待講演. 「理性の時代」の宗教改革運動. 日本語.

西崎文子 (NISHIZAKI Fumiko)

B. 分担執筆

- 西崎文子. 編集, 「はじめに」執筆. 西崎文子・武内進一(編著). 『紛争・対立・暴力 世界の地域から考える』, p. 177, pp. iii–xiv, 岩波書店(岩波ジュニア新書), 2016.
- 西崎文子. 「論争する国, アメリカ」, 桐光学園中学校・高等学校(編). 『高校生と考える 世界とつながる生き方』, p. 334, pp. 302–318, 左右社, 2016.

F. その他の業績

- Nishizaki, Fumiko. コメント. “Trans-Pacific Partnership: Open Markets or American Power? A Response to Kurt Tong.” The Australasian Journal of American Studies. 34. 2. pp. 22–24. Australian and New Zealand American Studies Association and the United Studies Center at the University of Sydney. 2015.12.
- 西崎文子. 巻頭言「特集『「渚にて」再訪——核, ハリウッド, オーストラリア』によせて」『ア

メリカ太平洋研究』, **16.3**, pp. 5–6, 2016.

- 西崎文子, 講演録「ピースデポ 第17回総会講演会抄録 日米関係と日本の核政策——歴史からの問い」『核兵器・核実験モニター』 **493**, pp. 6–8, 494, pp. 6–7, 495, pp. 5–7, 2016.
- 西崎文子, 巻頭言「米国大統領選挙と歴史の問題」, JAIR Newsletter (日本国際政治学会), **147**, p. 1, 2016.
- 西崎文子, エッセイ「大統領の折り鶴の意味を考える」, 『淡青』 **33**, p. 13, 2016.
- 西崎文子, 新聞記事「この国はどこへ行こうとしているのか トランプという嵐」『毎日新聞』 2016.12.13.
- 西崎文子, 新聞記事「識者座談会・米大統領選」共同通信社配信, 2016.11.10.
- 西崎文子, 新聞記事「今週の本棚・この三冊 米大統領選」『毎日新聞』, 2016.10.2.
- 西崎文子, 新聞記事「論点 変容する日米関係」『毎日新聞』, 2016.7.6.
- 西崎文子, 新聞記事「どう見る 米大統領広島訪問」『中国新聞』, 2016.5.20.

G. 国際学会

- Symposium for the 40th Anniversary of the Center for American Studies, Nanzan University “American Studies in Japan: Its History, Present Situation, and Future Course”
南山大学アメリカ研究所, 南山大学, 2016.7.2, 招待講演, “Practicing American Studies in an ‘Age of Fracture’” 英語.
- “70 Year Postwar Symposium Series: Thinking Together about the World and Japan: Symposium 4, Looking to the Future of the World, Asia, and Japan” 国際文化会館岩崎小弥太記念ホール, 2016.3.8, 英語, パネリスト.

H. 国内学会

- 第24回地域文化研究専攻主催公開シンポジウム「今, 人文・社会科学に何ができるか?」, 東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻, 東京大学駒場キャンパス18号館ホール, 2016.6.25, 一般発表, 「地域研究の視座と文脈——米国研究からの問い」.
- 「『冷戦史を問い直す』再考」, CHIR-Japan (国際関係史学会) 研究会, 東京外国語大学 本郷サテライトオフィス, 2016.11.12, コメント.
- 「地域研究の意義を考える」, 日本学術会議第一部地域研究委員会地域研究基盤整備分科会主催シンポジウム, 日本学術会議講堂, 2016.10.8, 総合企画, 司会.

I. その他の研究活動

- 日本学術会議第一部会員.

橋川健竜 (HASHIKAWA Kenryu)

F. その他の業績

- 橋川健竜, アメリカ革命・ハイチ革命, ラテンアメリカの独立とスペイン, アメリカ大陸諸国の体制変革, メキシコ革命と制度的革命党, 戦後ヨーロッパとアメリカ, 南塚信吾・秋田茂・

高澤紀恵 (責任編集). 『新しく学ぶ西洋の歴史 アジアから考える』. p. 410. pp. 89-90, 121-122, 153-155, 265, 275-278. ミネルヴァ書房. 2016.

長谷川まゆ帆 (HASEGAWA Mayuho)

F. その他の業績

- 学位取得 博士 (文学) 東京大学大学院人文社会系研究科にて審査 / 承認 / 授与. 博士論文題目「近世フランスの法と身体: 教区の女たちが産婆を選ぶ」 p. 328. 2016.
- 長谷川まゆ帆. 「東大教師が新生にすすめる本」『UP』特集アンケート. 東京大学出版会『UP』編集部編『東大教師が新生にすすめる本 2009-2015』2016. pp. 62-64. 初出『UP』2010.4.

H. 国内学会報告

- エゴ・ドキュメントの比較史研究会. 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 「エゴ・ドキュメントの比較史研究」2015-2017 研究代表者: 長谷川貴彦 (北海道大学教授). 東京大学駒場キャンパス. 2016.3.7. 一般発表. 「公的文書のエゴ・ドキュメント性: 18 世紀後半アルザス南部の女たちの合議とその位相」. 分担研究者.
- 日本西洋史学会. 慶応大学三田キャンパス. 2016.5.22. 自由論題報告 (見瀬悠「啓蒙の世紀フランスにおける外国人遺産没収権」) 司会.
- お産サポート JAPAN 講演会 NPO 法人 帝京平成大学中野キャンパス 2016.6.25. 招待講演. 「近代産科医の誕生とその時代: 18 世紀フランスにおける助産技法の変化と助産婦の制度化」.

羽田 正 (HANEDA Masashi)

A. 著書

- 羽田 正 増補『モスクが語るイスラム史——建築と政治権力』. p. 299. 筑摩書房. 2016.

B. 分担執筆

- 羽田 正「新しい世界史／グローバルヒストリーとは何か」. 羽田 正 (編)『グローバルヒストリーと東アジア史』. p. 316. pp. 1-15. 東京大学出版会. 2016.
- 羽田 正「新しい世界史と地域史」. 羽田 正 (編)『グローバルヒストリーと東アジア史』. p. 316. pp. 19-33. 東京大学出版会. 2016.
- 羽田 正「地域史と世界史」. 羽田 正 (責任編集)『地域史と世界史』. p. 326. pp. 1-10. ミネルヴァ書房. 2016.
- 羽田 正「イスラーム世界——歴史を語る空間概念の枠組みの功罪——」. 羽田 正 (責任編集)『地域史と世界史』. p. 326. pp. 63-77. ミネルヴァ書房. 2016.

F. その他の業績

- 「論点 世界史 国境を超えた研究必要」読売新聞. 2016.1.22.
- 羽田 正 (監修)『輪切りで見える! パノラマ世界史①世界史のはじまり』. p. 36. 大月書店. 2016.

- 羽田 正 (監修) 『輪切りで見える！ パノラマ世界史③海をこえてつながる世界』, p. 36, 大月書店, 2016.

G. 国際学会

- 「新しい世界史/グローバルヒストリーと歴史家の立ち位置」, 復旦大学文史研究院, 2016.1.7.
- Towards a Transcultural History of Diplomacy, 東京大学東洋文化研究所, 2016.12.9–12.10, Panel 7: A Common Terminology. 司会, コメンテーター, 英語.

H. 国内学会

- 「21世紀日本の世界史」(千葉県高等学校教育研究会歴史部会春季研究協議会記念講演), 千葉県立中央博物館講堂, 2016.6.22.

I. その他の研究活動

- Global History Collaborative 2nd Summer School 出席, Princeton University, 2016. 5.8.–5.15.
- Meeting of International Advisory Board for “Global Studies” Research Project 出席, Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales, 2016.12.1–12.2.

原 和之 (HARA Kazuyuki)

B. 分担執筆

- 原 和之, 「救済の二つの時間: 三島を用いてラカンを」, 井上隆史・久保田裕子・田尻芳樹・福田大輔・山中剛史編, 『混沌と抗戦: 三島由紀夫と日本, そして世界』, pp. 331–345, 水声社, 2016.

D. 一般学術論文

- 原 和之, 「単なる規則の限界の彼方で」——エドガー・アラン・ポーによる「分析」, 『I.R.S.——ジャック・ラカン研究』, 第14号, pp. 138–188, 日本ラカン協会, 2016.

E. 翻訳

- 三脇康生監訳, 廣瀬浩司・原 和之訳, ジャン・ウリ, 『精神医学と制度精神療法』, p. 403, 春秋社, 2016.
- 原 和之, 福田肇, 立木康介, 福田大輔訳, 「パトリック・ギュイヨマル, ラカンと逆転移——転移の余波」, 『I.R.S.——ジャック・ラカン研究』, 第13号, pp. 94–139, 日本ラカン協会, 2016.

F. その他の業績

- 原 和之 (ウェブ記事), 新刊紹介: 原 和之, 廣瀬浩司 (共訳) ジャン・ウリ (著) 三脇康生 (監訳) 『精神医学と制度精神療法』 春秋社, 2016, 表象文化論学会ニューズレター 〈Repre〉, No. 27, 2016.
- 巽 孝之・笠井 潔・立木康介・原 和之・若森栄樹 (座談会), 座談会——ラカンの「『盗まれた手紙』についてのセミナー」をめぐって, 『I.R.S.——ジャック・ラカン研究』, 第14号, pp. 36–96, 日本ラカン協会, 2016.

G. 国際学会

- Journée d'études «Genre et philosophie — le sujet universel à l'épreuve de la différence des sexes». Erasmus Mundus — Europhilosophie. 法政大学市ヶ谷キャンパス, 2016.6.6. 招待講演. Peut-on concevoir une dialectique «féminine» du désir?: Lacan avec Klein. フランス語.

深澤晴奈 (FUKASAWA Haruna)

C. レフェリー付き学術論文

- 深澤晴奈, 「スペインの移民政策とラテンアメリカ出身移民——その実態と背景としての法的優遇」, 『社会科学』, 46.1, pp. 65–92. 同志社大学人文科学研究所, 2016.

H. 国内学会

- 同志社大学第 11 部門研究会 「ラテンアメリカにおける国際労働力移動の比較研究」, 同志社大学第 19 期研究会, 同志社大学人文科学研究所, 2016.7.23. 一般発表. スペインの移民政策とラテンアメリカ出身移民.

ホーンズ, シーラ (HONES Sheila)

増田一夫 (MASUDA Kazuo)

B. 分担執筆

- 増田一夫, 忌避される共同体——デリダと主権の脱構築. 岩野卓司 (編), 『共にあることの哲学』, p. 284, pp. 173–207. 書肆心水, 2016.

F. その他の業績

- 増田一夫, 書評, 民主主義, その批判的診断と希望. 森政稔『迷走する民主主義』(ちくま新書, 2016.), 『教養学部報』, 第 585 号.
- 増田一夫, エッセイ, 自己免疫症に陥る共和国. ふらんす, 白水社, 2016 年 7 月号, p. 16.
- 増田一夫, エッセイ, 「日本」の複数性と其の境界——黒住真先生を送る. ODYSSEUS, 東京大学大学院総合文化研究科・地域文化研究専攻紀要, 第 20 号, pp. 147–149, 2015. (2016.3.31 発行)

G. 国際学会

- ジャン・ボベロ (Jean Baubérot, フランス高等研究実践院元院長) 講演会. La laïcité actuelle en France face à l'islam et à la globalisation du religieux. 科学研究費補助金基盤 (B) ヨーロッパの世俗的・宗教的アイデンティティの行方——政教関係の学際的比較研究. 東京大学教養学部, 2016.10.24. 組織・司会. フランス語.

I. その他の研究活動

- 座談会, 駒場で考える〈シャルリ〉以後の世界. 東京大学生協駒場書籍部・青土社・白水社, 駒場コミュニケーションプラザ, 2016.5.16.

黛 秋津 (MAYUZUMI Akitsu)

D. 一般学術論文

- 黛 秋津. ルーマニアにおける水たばこの歴史——オスマン帝国の支配との関連で——. たばこ史研究, 135. たばこ総合研究センター, pp.1–12. 2016.
- Mayuzumi, A., The Establishment of the Russian Consulates in the Danubian Principalities in the 1780s and the Ottoman Empire. *Turkey & Romania: A History of Partnership and Collaboration in the Balkans*. p. 604. pp. 287–295. Türk Dünyası Belediyeler Birliği (TDBB) Publications, No:18. 2016.

F. その他の業績

- 黛 秋津. 項目執筆. ルーマニア, トランシルヴァニア地方, ほか全 74 項目. 竹内啓一, 手塚章, 中村泰三, 山本健児 (編). 『世界地名大事典』. 第 4 巻 p. 1232, 第 5 巻 p. 1184, 第 6 巻 p. 1264. 朝倉書店. 2016.

F. 国際学会

- 3rd International Congress of Pontic Studies. Aristotle University of Thessaloniki. Thessaloniki. 2016.11.18–11.20. 一般発表. The Russian diplomatic intervention in the Ottoman-Crimean relations after the treaty of Küçük Kaynarca (1774). 英語.

宮川絹代 (MIYAGAWA Kinuyo)

D. 一般学術論文

- Информированность японского читателя о творчестве Бунина и особенности его изучения в университетском образовании в Японии. «БУНИН И РОССИЯ»: Коллективная монография по материалам Международной литературно-мемориальной конференции, посвящённой 145-летию со дня рождения И.А. Бунина. М.: «Бунинское общество России». С. 115–129. 2016. [「日本読者が知るブーニン文学と大学教育におけるブーニン文学」, 『ブーニンとロシア: ブーニン生誕 145 年記念国際文学回顧学会論文資料集』, pp. 115–129. ロシアブーニン協会 (ロシア). 2016.]
- ゲオルギー・イワーノフの青——亡命後の創作をめぐる。『20 世紀前半の在外ロシア文化研究 平成 25–27 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (課題番号: 25284060) 研究成果報告書報告論文書』, pp. 52–68. 札幌. 2016.
- Семантика синего цвета в «Распаде атома» Георгия Иванова. *Селищевские чтения. Международный сборник научных трудов, посвященный 130-летию со дня рождения Афанасия Матвеевича Селищева*. С. 198–204. Елец. 2016. [ゲオルギー・イワーノフの『原子の分解』における青の意味論, 『セリシチェフ講座 アファナシー・マトヴェエフ・セリシチェフ生誕 130 周年国際論文集』, pp. 198–204. エレツ (ロシア). 2016.]

G. 国際学会

- シンポジウム: 今, ロシア文学を考える. 平成 27 年度国立大学改革強化推進補助金プロジェクト. 東京大学駒場キャンパス学際交流ホール. 2016.3.11. 組織・司会. 日本語・ロシア語.

- Литературный институт им. А. М. Горького. 2016. Русская литература в Японии, японская литература в России. [А. М. Гóркий記念文学大学 (ロシア), 2016.3.18, 公開講義, 日本におけるロシア文学, ロシアにおける日本文学, ロシア語.]
- Пятая международная научная конференция «Русская литература XX–XXI веков как единый процесс (проблемы теории и методологии изучения)». Московский государственный университет им М. В. Ломоносова. 2016.12.8. Образ «утробности» в творчестве И. А. Бунина. [第5回国際学会「一つのプロセスとしての20–21世紀ロシア文学(理論的問題と研究の方法論)」, М. V. ロモノーソフ記念ロシア国立モスクワ大学 (ロシア), 2016.12.8, 一般発表, プーニン文学における「胎内的なもの」のイメージ, ロシア語.]

村田雄二郎 (MURATA Yujiro)

B. 分担執筆

- 張競・村田雄二郎 (編集/解説), 『蜜月と軋み 1972– (日中の120年 文芸・評論作品選⑤)』, p. 346, 岩波書店, 2016.
- 張競・村田雄二郎 (編集/解説), 『断交と連帯 1945–1971 (日中の120年 文芸・評論作品選④)』, p. 327, 岩波書店, 2016.
- 張競・村田雄二郎 (編集/解説), 『侮中と抗日 1937–1944 (日中の120年 文芸・評論作品選③)』, p. 315, 岩波書店, 2016.
- 張競・村田雄二郎 (編集/解説), 『敵か友か 1925–1936 (日中の120年 文芸・評論作品選②)』, p. 315, 岩波書店, 2016.
- 張競・村田雄二郎 (編集・解説), 『共和の夢 膨張の野望 1894–1924 (日中の120年 文芸・評論作品選①)』, 岩波書店, p. 307, 2016.
- 村田雄二郎, 強兵なき富強? — 近現代東アジアにおける四つの「戦後」, ボルジギン・フスレ (編), 『日モ関係の歴史, 現状と展望 — 21世紀東アジア新秩序の構築にむけて』, p. 218, pp. 79–97, 風響社, 2016.
- 孔祥吉・村田雄二郎, 留日学生的派遣与清王朝命運の終結 — 以晚清留学生政策演變为中心, 楊念群 (編), 『澹澹清川: 戴逸先生九秩華誕紀念文集』, p. 656, pp. 463–515, 北京: 中国人民大学出版社, 2016.
- Murata Yujiro, The Late Qing ‘national language’ issue and monolingual systems: Focusing on political diplomacy. *Chinese Studies in History*. 49.3. pp. 108–125. 2016.

D. 一般学術論文

- 村田雄二郎, 超越富国強兵之夢 — 近現代東亞の四個“戦後”. 『開放時代』, 2016–6, pp. 13–25, 2016.

F. その他の業績

- 村田雄二郎, エッセイ, 犬も食わない名前, 『世界の名前』, p. 243, pp. 111–113, 岩波書店,

2016.

G. 国際学会

- 「民国政府与《清室優待条件》」, 2016.9.5. マカオ大学歴史学部(マカオ), 一般講演, 中国語.
- 国際シンポジウム「アーカイブの内と外——当代中国研究の新展開」, 2016.9.24. 公益財団法人東洋文庫(東京), 企画及び総合司会, 中国語.
- 国際シンポジウム「方法としての越境と混血——詩人黄瀛生誕110周年を記念して」, 2016.10.24–25. 四川外国語大学(重慶), 「岡倉天心と中国」, 一般講演, 日本語.
- 第2回鐘山フォーラム／アジア太平洋社会文化分科会, 2016.10.29–30. 南京大学(南京), 「民国初年約法体制中的《清室優待条件》」, 一般発表, 中国語.
- 「岡倉天心的南北異同論」, 2016.11.1. 南京大学学衡研究院(南京), 一般講演, 中国語.
- 孫中山生誕150周年記念国際シンポジウム「孫文とアジア太平洋——ネイションを越えて」, 2016.11.25–26. 神戸大学(神戸), 「孫文以後の大アジア主義——民国期中国における日本認識をめぐって」, 基調講演, 日本語.
- 第5回中国当代史研究ワークショップ, 2016.12.3–4. 華東師範大学当代史研究センター(上海), コメンテーター, 中国語.
- 国際シンポジウム「中日国力消長下東亜秩序的重構——近現代二度「中心」更替及其影響」, 2016.12.19–20. 中央研究院近代史研究所(台北), 「超越富国強兵之夢——近現代東亜的四个“戦後”」, 基調講演, 中国語.
- 東洋文庫アカデミア講座 第2回現代中国理解セミナー「現代中国を理解するための6つのキーワード」(全6回), 2016.2.1/2.8. 三菱商事ビル(東京), 全体のコーディネーター及び第1–2回を担当, 日本語.

村松真理子 (MURAMATSU Mariko)

F. その他の業績

- 村松真理子(監修), 「『神曲』とは何か」(別冊宝島, 2502号), p. 217. 2016.9.15.
- 村松真理子, 書評, ウンベルト・エーコ著『プラハの墓地』, 北海道新聞, 2016.4.10.
- 村松真理子, 書評, 「歴史の闇に埋もれて」いた女性たち, 望月紀子著『イタリア女性文学史, 中世から近代へ』, 図書新聞, 2016.5.28.

G. 国際学会

- 日伊修好150周年記念国際シンポジウム「イタリアと日本, 影響と交流. 歴史, 文学, 食からファッション芸術まで」“Italia-Giappone, influenze e scambi. Dalla storia alla letteratura, dal cibo alla moda e all’arte”. イタリア, ボローニャ大学人文学系大学院 Università degli Studi di Bologna, Scuola Superiore di Studi Umanistici 主催, 2016.10.24–10.25. 招待発表および組織, 「日本におけるイタリア文学の受容——ダンテからダンヌンツィオ, タブッキまで」“La conoscenza della letteratura italiana in Giappone da Dante a D’Annunzio e Tabucchi”. イタリア語.

森井裕一 (MORII Yuichi)

A. 著書 (編著書)

- 森井裕一 (編著) 『ドイツの歴史を知るための 50 章』, 明石書店, p. 388, 2016.

B. 分担執筆

- 森井裕一, ドイツ——人の移動と社会変容, 岡部みどり編, 人の国際移動と EU——地域統合は「国境」をどのように変えるのか? 法律文化社, 第 7 章, pp. 91–104, 2016.
- 森井裕一, EU 統合と現代ドイツ——ドイツはヨーロッパの一員として振る舞い続けるのか, 小久保康之編, EU 統合を読む——現代ヨーロッパを理解するための基礎, 春風社, 第 9 章, pp. 219–238, 2016.

D. 一般学術論文

- 森井裕一, 国民国家の試練, 難民問題に苦悩するドイツ, アステイオン, 84 号, pp. 115–129, 2016.

F. その他業績

- 書評, 欧州複合危機, 日本経済新聞, 朝刊, p. 19, 2016.12.4.
- 座談会, 欧米に広がる反グローバリズム——移民・難民排斥の深層, 外交, Vol. 39, pp. 98–107, 2016 年 9 月.
- 解説, 連続テロにさらされるメルケル政権, 時事通信社 e-World, 2016.8.19.
- 解説, ドイツの積極的外交政策と難民問題, Newsweek 日本版, 2016.7.1.
(http://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2016/07/post-5414_1.php.)
- 解説, 今を読み解く——現代ドイツをめぐる議論: 国内外で見解に相違, 日本経済新聞, p. 19, 2016.5.8.
- 座談会, 岐路に立つ欧州——ヨーロッパの危機をどう見るか, 三田評論, pp. 10–26, No. 1199, 2016 年 4 月.
- 解説, 財政規律と政治——EU 研究と比較政治学の接点, 日本比較政治学会ニュースレター, pp. 11–12, 第 36 号, 2016.3.

H. 国内学会

- 日本国際政治学会研究大会, 幕張メッセ, 欧州国際政治史・欧州研究分科会 C1, 2016.10.15, 一般発表, 現代ドイツの安全保障文化——連邦軍と社会関わりを中心として.

森山 工 (MORIYAMA Takumi)

F. その他の業績

- 森山 工, 「良心と信念の人——石井洋二郎先生を送る」, 『教養学部報』 588 号, p. 2, 東京大学教養学部, 2016.12.6.
- 森山 工, 「書評 小川了著『第一次大戦と西アフリカ——フランスに命を捧げた黒人部隊「セネガル歩兵」』」, 『アジア経済』 第 57 巻第 4 号, pp. 93–97, 2016.12.15.

I. その他の研究活動

- 鎌倉淡青会平成 28 年度年次総会, 銀座アスター鎌倉賓館, 2016.6.25, 講演「東京大学の挑戦——学部教育の総合的改革について」.
- 石川県立小松高等学校全体進路講演会, 石川県立小松高等学校, 2016.10.7, 講演「大学で学ぶということ——リベラルアーツと知の相対化について」.

矢口祐人 (YAGUCHI Yujin)

C. レフェリー付き学術論文

- Yaguchi, Yujin “Longing for Paradise through ‘Authentic’ Hula Performance in Contemporary Japan,” *Japanese Studies* 35, 3, pp. 303–315, 2015.

G. 国際学会

- American Historical Association Pacific Coast Branch, “Pearl Harbor at 75: A Pacific History Conversation,” (Kona, Hawai’i), 2016.4.5. ラウンドテーブルのパネリスト.
- American Historical Association Pacific Coast Branch, “Embracing the Enemy Language: Tadaichi Hirakawa’s English Lessons through the Radio in Post-World War II Japan,” (Kona, Hawai’i), 2016.8.6. 一般発表.
- American Studies Association “American Quarterly I: Workshop on American Quarterly Review and Editorial Process,” (Denver), 2016.11.16. パネリスト (American Quarterly 副編集長として).
- University of Kansas, “Remembering Pearl Harbor in Japan—Does it Still Matter?” The Pearl Harbor Attack: A Pacific History, 2016.12.3. 招待発表.

I. その他の研究活動

- 「ハワイの負の側面からグローバルな世界の未来を思考する」INFINITY vol. 10, p. 12–14. (2016 年 6 月) (インタビュー)
- 学習院高等科「ハワイから沖縄を考える」2016.9.28. (講演)
- マスコミ倫理懇談会全国協議会「アメリカ大統領選: メディアはアメリカ社会をどう捉えたか」2016.12.13. (講演)

安岡治子 (YASUOKA Haruko)

A. 著書

- 安岡治子, 『基礎から学ぶロシア語発音』, (リュボーフィ・ゴルボフスカヤとの共著), p. XII+127. 研究社, 2016.

D. 一般学術論文

- 安岡治子, 井上洋治神父と東方キリスト教の重なり, 『プネウマ 風』, 第 100 号, pp. 23–28. 風編集室, 2016.

F. その他の業績

- エッセイ, 安岡治子, 人生と旅 プロセス愉しんだ父, 読売新聞, 2016.10.10.
- エッセイ, 安岡治子, 本報告書によせて, 第 29 期日本ロシア学生交流会関東本部報告書, pp. iv-v, 日本ロシア学生交流会関東本部, 2016.11.

I. その他の研究活動

- 対談, 黒井千次, 安岡治子, 作家の顔, 父の顔——安岡章太郎の素顔, 神奈川県立近代文学館, 2016.11.5.
- 報告, ロシア正教における三位一体について, 東方教父をめぐるミニ・シンポジウム (5), 東京大学駒場キャンパス, 2016.3.23.

山口輝臣 (YAMAGUCHI Teruomi)

B. 分担執筆

- 山口輝臣・葉室麟, 「国家と宗教」, 葉室麟『日本人の肖像』, p. 219, pp. 159-174, 講談社, 2016.

F. その他の業績

- 原口大輔・山縣大樹・林義大・前田修輔・小倉徳彦・小林篤正・韓相一・山口輝臣, 「書評 松田好史『内大臣の研究 明治憲法体制と常時補弼』」, 『九州史学』, 172, pp. 62-71, 九州史学研究会, 2016.
- 山口輝臣, 教科書『中学社会 歴史 未来をひらく』, 担当箇所非公表, p. 274, 教育出版, 2016.
- 山口輝臣 「ホームなのか, アウェイなのか」, 『教養学部報』, 586, 3 面, 東京大学教養学部, 2016.10.

G. 国際学会

- The Emperor and Religion in Modern Japan, ハイデルベルク大学日本学研究所, ハイデルベルク大学 (ドイツ連邦共和国ハイデルベルク市), 2016.1.26, 招待講演, Rituals and Faith within the Imperial Family: The Establishment of Shinto Court Ceremonies and the “Revitalization” of Buddhism in Modern Japan. 英語.
- 日本と東アジアにおける「1945 年」—— 転換期の日本と戦後 70 年の現在からの回顧——, ケルン日本文化会館, ケルン日本文化会館 (ドイツ連邦共和国ケルン市), 2016.1.29, 招待講演, 「敗戦による変革と連続——「国体」と「天皇制」, そしてその現在」, 日本語.
- 東アジア文化交渉学会第 8 回大会, 東アジア文化交渉学会, 関西大学 (大阪府吹田市), 2016.5.7, 一般発表, 「宗教学と帰一協会」.

H. 国内学会

- 第 1 回宗教とナショナリズム研究会, 日本学術振興会平成 27 年度科学研究費助成事業 (基盤研究 (C)) 「国家神道と国体論に関する学際的研究——宗教とナショナリズムをめぐる「知」の再検討——」, 国学院大学 (神奈川県横浜市), 2016.2.28, 招待講演, 「批評 藤田大誠・青井哲人・畔上直樹・今泉宜子編『明治神宮以前・以後——近代神社をめぐる環境形成の構造転換

—』」.

- 地域文化研究専攻第2回研究集会, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 東京大学(東京都目黒区), 2016.10.25, 招待講演, 「栄養で経済で: 学知が食に入るとき」.
- デジタル版『渋沢栄一伝記資料』公開記念シンポジウム, 公益財団法人渋沢栄一記念財団・渋沢研究会, 渋沢史料館(東京都北区), 2016.12.3, 招待講演, 「デジタル版『渋沢栄一伝記資料』の可能性〜研究, 教育の現場から」.

ロビンス, ロジャー (ROBINS Roger)

和田 毅 (WADA Takeshi)

C. レフェリー付き学術論文

- Wada, T. 2016. "Rigidity and flexibility of repertoires of contention." *Mobilization: An International Quarterly*, **21.4**, pp. 449–468. 2016.

G. 国際学会

- The 1st National Congress of Social Movement Studies: "Rethinking movements. Dialogues between knowledge and experiences" (1er. Congreso Nacional de Estudios de los Movimientos Sociales: "Repensar los movimientos. Diálogos entre saberes y experiencias"). Mexican Network of Social Movement Studies (Red Mexicana de Estudios de los Movimientos Sociales). Universidad Autónoma Metropolitana, Mexico City. 2016.10.17–21. 招待講演, "Relational Event Analysis of Popular Protests in Mexico, 1964–2000." 英語・スペイン語.
- The 111th Annual Meetings of the American Sociological Association. Seattle, USA. 2016.8.20–23. 一般発表, "Civil Society Thickening: Mexican Electricity Workers at the Turn of the Century." 英語.
- The 3rd ISA Forum of Sociology: "The Futures We Want: Global Sociology and the Struggles for a Better World." International Sociological Association. University of Vienna, Vienna, Austria. 2016.7.10–14. 一般発表, "A Cross-National Comparison of the Patterns of Civic Participation: Worldwide Convergence, National Divergence, or Enduring Influences of Cultural Repertoires?" (with Yoojin Koo and Kayo Hoshino). 英語.
- The 3rd ISA Forum of Sociology: "The Futures We Want: Global Sociology and the Struggles for a Better World." International Sociological Association. University of Vienna, Vienna, Austria. 2016.7.10–14. 一般発表, "Association Rule Analysis of the Repression-Dissent Dynamics" (with Yoshiyuki Aoki). 英語.
- The 2016 UTokyo LAINAC International Conference: "The Power of Memory: Perspectives from Latin America." The University of Tokyo, Komaba Campus. 2016.6.10–12. 組織委員・開会挨拶. 英語・スペイン語.
- The XXXIV International Congress of the Latin American Studies Association. New York, USA.

2016.5.27-30. 一般発表. “A historical and comparative analysis of the influences of academic disciplines on Latin American Studies.” 英語.

- The 2016 UTokyo LAINAC Workshop on “The Future of Democracy after Neoliberalism: Challenges from Latin America.” The University of Tokyo, Komaba Campus. 2016.1.12-14. 組織委員・一般発表 (“Civil Society Thickening: A Comparison of Two Electricity Workers Unions in Mexico”). 討論者. 英語・スペイン語.

H. 国内学会

- 第7回メキシコ研究会. アジア経済研究所. 早稲田大学早稲田キャンパス. 2016.12.10. 一般発表. 「メキシコの市民社会・社会運動の変遷の研究について」.
- 第53回ラテン・アメリカ政経学会全国大会. 東京大学駒場キャンパス. 2016.11.5-6. 実行委員.
- 第2回戦略的パートナーシップシンポジウム. 東京大学国際本部グローバルキャンパス推進室主催. 東京大学理学部2号館4階講堂. 2016.3.14. 「戦略的パートナーシップ: エル・コレヒオ・デ・メヒコ大学院大学」. 英語.

I. その他の研究活動

- 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)特設分野(紛争研究)『暴力的紛争の勃発を予測するシステムを開発する国際的・学際的共同研究』(研究代表者: KAKENHI 15KT0040)の計画に基づいた研究.
- 日本学術振興会科学研究費補助金挑戦的萌芽『グローバル化する世界における民主主義の行方と社会運動の役割についての国際共同研究』(研究代表者: KAKENHI 26590087: 2014-2017)の計画に基づいた研究.
- 東京大学スーパーグローバル大学創成支援に係る戦略的パートナーシップ構築事業『チリ大学及びチリ・カトリカ大学との戦略的パートナーシップの構築』プロジェクト(2015-2016年度)事業継続.
- 東京大学スーパーグローバル大学創成支援に係る戦略的パートナーシップ構築事業『メキシコ(エル・コレヒオ・デ・メヒコ大学院大学)を中心とした中南米地域との先端研究教育パートナーシップの構築』プロジェクト(2014-2016年度)の事業継続.